

第6学年1組 総合単元学習指導案

久留米市立大橋小学校

1 総合単元名 ありのままの姿を大切にしよう私たち

2 目標

<こんな子どもに>

- (1) 性の多様性に対して開かれた心を持ち、自他の性のあり方についての違いを認め、よき人間関係を築きながら共に生きようとする態度をもつことができる。 **【価値的・態度的側面】**
- (2) 多様な性のあり方があることを知り、すべての人々と、性についての心のあり方を認め合うこと、性差にとらわれず、互いの自分らしさを尊重し合うことの大切さを理解することができる。 **【知識的側面】**
- (3) 人間の尊厳の平等性をふまえ、自己や他者の性のあり方について、多面的な見方をしたり、自他の相違を認め合ったりしながら、自他を大切にすることができる。 **【技能的側面】**

(学級活動における目標)

※「(2)ーウ 望ましい人間関係の形成」

- (1) 日ごろの生活の中での、他者の性のあり方に対する自分の見方に関心を持ち、自主的に望ましい人間関係を築こうとすることができる。

【関心・意欲・態度】

- (2) 多面的な性の見方について感じたことを話し合い、その人らしさを尊重することについて自己決定したことを実践することができる。

【思考・判断・実践】

- (3) 自分らしさを他者と互いに尊重し合う生活をつくることの大切さ、そのための性に対する考え方について理解することができる。

【知識・理解】

(道徳における目標)

※「2ー(3) 信頼・友情」

- (1) 資料を読んだり、生活を振り返って話し合ったりすることを通して、互いに信頼し、学び合って友情を深め、誰とでも仲よく協力し助け合うことの大切さを感じ取ることができる。

【道徳的心情】

- (2) 友達と一緒に活動するとき、互いに信頼し、学び合って友情を深め、誰とでも仲よく協力し助け合うことの大切さを理解することができる。

【道徳的判断力】

- (3) 相手とどう協力するかについて、性別によって考えるのではなく、誰とでも信頼し合って助け合おうと考えることができる。

【道徳的実践意欲と態度】

(体育科における目標)

※「G保健 (1) 心の健康」

- (1) 自己や他者に対する公正な見方をもとに、誰とでも協力しながら、心身共に健康な生活を営む態度をもつことができる。

【関心・意欲・態度】

- (2) 両性のホルモンや、そのバランスによる発育の違いについて、性差や個人差の観点から考え、自己や他者の違いに関して気づいたことを話し合うことができる。

【思考・判断】

- (3) 体と心が相互に影響し合いながら発達することや、発育においては、性差よりも個人差の方が大きいことを理解することができる。

【知識・理解】

3 本総合単元指導の立場

<こんな教材で>

- 本総合単元では、性の多様性に着目し、学級活動においては、性的マイノリティの当事者（Aさん）の方の話を聞いて話し合ったり、道徳においては、資料を読んで友達との協力について話し合ったり、体育科においては、自他の発育の様子について話し合ったりする。そのことを通して、誰とでも支え合いながら希望をもって生活する態度をもったり、性差にとらわれず、自他を一人の人間として尊重し合うことの大切さを理解したり、自他を大切にしたりすることをねらいとしている。
(本教材の価値)
- 本教材では、複数の資料から、性には男女という2つの性別のみあるという固定的な見方ではなく、多様性があるという見方が大切なことをとらえられるようにする。これは、日常生活の中で、様々な物事について性差にとらわれた考え方をするのではなく、自他を一人の人間として尊重し合うことが大切なことを理解しやすくし、子どもに物事に対する多面的な見方をもたせやすい活動である。(子どものよさや不十分さに対する本教材の重点化・焦点化しておきたい内容)
- 本単元では、様々な物事について性差にとらわれた考え方をするのではなく、自他を一人の人間として尊重し合うことが大切なことを理解する。このことは、部落差別をはじめとするあらゆる差別をなくすことを目指している人権のまちづくりの学習へと発展する。
(指導の系統と意義)

<こんな活動で>

- ≪つかむ段階≫
 - 自分の性について考えたことを話し合ったり、性に関する見方の学習を振り返ったりする活動を通して、自分や他者を大切に学習の見通しをもつ活動。
[学級活動(課外)]
- ≪さぐる段階≫
 - 誰とでも信頼し合って助け合おうする意欲をもったり、発育は、男女の差よりも一人一人の個人差の方が大きいことを理解したりする活動。
[道徳, 体育科]
- ≪ふかめる段階≫
 - Aさんの話を聞き、友達と自分らしさをどう大切にしようかについて考えることを通して、これから大事にしていきたい友達との関わり方を自己決定する活動。
[学級活動(課外含む)]
- ≪いかす段階≫
 - 性別ではなく、自分らしさや能力によって職業を選んだ人達について知ることを通して、将来の自分に関心を持ち、目標をもって生活しようとする意欲をもったり、ふかめる段階で自己決定したことを実践したりする活動。
[学級活動(課外含む)]
- ≪特に本時では≫
 - Aさんのこれまでの生活、性差についての考え、みんなに考えてほしいことを知る。次に、自分らしさを友達と互いに大切にしよう方法について話し合う。最後に、自分らしさの尊重のために、これから大事にしていきたい友達との関わり方について自己決定する。
[学級活動]

<こんな支援で>

- 性の多様性について考え、性差にとらわれない見方や考え方の大切さを理解するために、学級活動、道徳、体育科における指導内容を関連させ、総合単元的な学習活動を設定し、自他を一人の人間として尊重し合うことができるような活動の構成の工夫を図る。
(本総合単元の構成の工夫)
- 新たな人権課題をとらえ、自他と向き合いながらその解決に向けて共に考えるために、話し合ったことをもとに自分達の生活を考える学級活動のよさ、資料から道徳的価値を見出し、実践する意欲や態度をもつ道徳のよさ、心と体を一体としてとらえ、心身共に健康な生活を営む態度をもつ体育科のよさを生かした関連的な学習活動の設定により、自己のこれからの他者との関わり方について考えることができるようにする。(関連的な学習のよさの重視)
- 予想される個人差に対応するために、既習の人権学習を振り返らせ、性の多様性についても、同じ人間として認め合うことの大切さに気づかせる。また、メディアから得る情報だけが正しいのではなく、人を見た目だけで判断しないことが大切なことに気づかせる。考えたことを書いたり発表したりすることに苦手意識がある子どもには、考えがまとまったり書き終えたりしていなくても、気づいたことや疑問に思うことを発表してもよいことを伝え、安心して学習に臨むことができるようにする。
(個人差への対応)

<こんな子ども達だから>

- 本学級の子ども達は、友達に親切にしたり、優しくしたりすることができる。これまでの人権に関する学習や、毎日の互いのよさを認め合う活動を通して、一人一人を同じ人間として大切にしなければならないという気持ちをもつことができ始めている。
(学習内容に関連する子どものよさ)
- みんなそろって仲良くすることができる一方で、性差をもとにした考えで行動することが時々見られる。テレビを中心としたメディアからの情報の得る方法も様々で、性自認や性的指向が人それぞれ異なることへの気づきにも個人差が見られる。
(学習内容に関連する子どもの個人差)

4 総合単元指導計画 (4時間(道徳①, 体育科①, 学級活動②) + 課外)

段階	ねらい 及び指導教科・領域等	主な学習活動	具体的な支援
つかむ	<p>《事前の指導》</p> <p>◇ 自分の性について考えたことを話し合ったり, 男女という性に関する見方についての学習を振り返ったりする活動を通して, 自分や他者を大切にすることについての学習の見直しをもつことができる。</p> <p><課外></p> <p>◇ Aさんからのメッセージを聞くことを通して, 自分が, 友達に対してどのような見方や接し方をしているか見つめ直すことができる。</p> <p><課外></p>	<p>○ 自分の性のあり方について, 男性か女性か, 根拠も含めて考える。</p> <p>○ 性に対する考え方には, 体の性や, それに対する自己認識, 恋愛の対象となる性別などがあることを知り, 人それぞれ一概に男性か女性かとは言い切れないことに気づく。</p> <p>○ 性の多様性という視点で自他を大切にしていくことについて学ぶという単元の学習のめあてをもつ。</p> <p>○ Aさんからのメッセージを受け, 自分が友達に対してどんな見方や接し方をしているか振り返りながら1週間過ごし, 友達に対する自分の見方がどうだったかをまとめる。</p>	<p>○ 性の多様性について否定せず, 同じ人間として互いに大切にしようが必要であることに気づかせるために, 既習の人権学習を想起させる。</p> <p>○ 人を見た目だけで判断しないことの大切さに気づかせるために, メディアなどから得て知っていることを挙げさせながら, 性が多様なことを確かめ合う。</p> <p>○ 自分の, 友達に対する見方や接し方を振り返らせるために, 友達と仲よくしているかを問いかけたり, 1週間後に会いに来ることを伝えたりする, Aさんからのビデオメッセージを作成しておく。</p> <p>○ 本時学習の導入で振り返るために, 1週間の, 友達に対する自分の見方についてのアンケートをとり, まとめておく。</p>
さぐる	<p>1 資料を読んだり, 生活について話し合ったりすることを通して, 誰とどう協力するかについて, 性別によって考えるのではなく, 誰とでも信頼し合って助け合おうする意欲をもつことができる。</p> <p><道徳2-(3)信頼・友情「絵地図の思い出」></p>	<p>○ 男女が一緒になって仕事をするときの気持ちを発表する。</p> <p>○ 「絵地図の思い出」を読んで, 「絵地図をかいているときの気持ち」「クラスみんなが協力を申し出たときの主人公の思い」について話し合う。</p> <p>○ 今までの自分の, 他者との協力のしかたについて振り返り, 話し合う。</p>	<p>○ 学習に対する意欲や関心をもたせるために, 体育科(保健領域)で学習した異性への関心について, これまでに経験した行事等の中での男女の協力について話し合う時間を設ける。</p> <p>○ 協力するという返事もらった主人公の驚きが伝わるよう, これまでの主人公の気持ちや友達の反応を確認したうえで, 返事を板書する。</p>
	<p>2 自分達の生まれてからこれまでの発育の様子について調べる活動を通して, 発育は, 男女の差よりも一人一人の個人差の方が大きいことを理解することができる。</p> <p><保健「成長する心と体」></p>	<p>○ 自分の, 入学時からこれまでの身長や体重の変化について, その伸びを調べる。</p> <p>○ 体内に両方の性のホルモンが存在して体の発達が起きていることを知り, 自分の体について考える。</p> <p>○ 既習内容を想起しながら, 人によって発達や成長に違いがあつて当然で, その差は性差よりも個人差として大きく現れることを理解する。</p>	<p>○ 単なる友達との身長や体重の比較にならないようにするために, 自分の体重や身長の伸びを調べて気づきをもたせる。</p> <p>○ 男女の差よりも個人差の方が大きいことに着目させるために, みんなの体がそれぞれ発達していること, それが性別によらないことを全員で確認し合う。</p>

ふかめる	<p>◇ 初対面のAさんとの交流を通して、友達として楽しく一緒に過ごすことができる。 ＜課外＞</p> <p>◇ 相手のことでよくわからないことがあっても、見た目にとらわれずに、楽しく会話をしたり、共に学習したりすることができる。 ＜課外＞</p> <p>◇ みんなで仲良く遊ぶ中で、相手と共通の話題を見つけたり、一緒に体を動かしたりしながら、共に楽しい時間を過ごすことができる。 ＜課外＞</p>	<p>○ Aさんと出会い、話をしながら楽しく交流する。</p> <p>○ Aさんと一緒に学習しながら楽しく交流を深める。</p> <p>○ Aさんと一緒に遊びながら交流をさらに深める。</p>	<p>○ 性のあり方について詳しくは明かさずに子ども達と交流してもらうよう、Aさんと事前に打ち合わせておく。</p> <p>○ 子どもに楽しく声をかけたり、学習のことでわからないところを教えたりしてもらうよう、Aさんと事前に打ち合わせておく。</p> <p>○ 子ども達の中で、性別にとらわれた考え方による言動によって相手を傷つけていることがあれば、『女だから』や『男なのに』と考えることではない』などと子ども達に話してもらうよう、Aさんと事前に打ち合わせておく。</p>
(本時)	<p>3 Aさんの話を聞き、性的マイノリティの方の人権を尊重することと、自分らしさを友達と互いに尊重し合うことの大切さを理解し、友達と自分らしさをどう大切にしようかについて考え、これから大事にしていきたい友達との関わり方を自己決定することができる。 ＜学級活動(2)「自分らしさの認め合い」＞</p>	<p>○ Aさんの話から、これまでの生活のことや性差についての考えを知り、友達のよさの見方について話し合う。</p> <p>○ Aさんの話を聞いて考えたことをもとに、友達と自分らしさを大切にしようかについて話し合い、これから大事にしていきたい友達との関わり方を自己決定する。</p> <p>○ 日常生活の中で、自分らしさを他者と互いに尊重し合うために、みんなでどんなことに取り組むかを話し合う。</p>	<p>○ 自分達が学級で友達のことをどのように見ているのかを振り返られるよう、1週間の、友達に対する自分の見方についてのアンケートの結果を伝える。</p> <p>○ 自分らしさを十分に発揮できることが大切であることに気付かせるために、子ども達の発表の中でそれらの気づきができていた部分を、Aさんに認めてもらう。</p>
いかす	<p>《事後の指導》</p> <p>◇ 他者とよりよく関わるために、相手を一面的に見たり、男女の性別にとらわれた考え方をしたりするのではなく、自分らしさを認めたりよさを見つけたりしようという意欲をもち、自己決定したことを実践することができる。 ＜課外＞</p>	<p>○ 自分らしさを互いに尊重し合うことについて自分で決めたことを実生活で実践し、自己評価したり友達と評価し合ったりする。</p>	<p>○ 学級で、友達と互いのよさを見つけ合って葉に書き、木に貼り付けて称賛し合うことで、教室に掲示している「一人一人を大切にしようの木」を大きくすることを通して、一週間の実践の中で、決めたことがうまくできたところ、できなかったところはどこかを振り返る。</p>

<p>4 性別ではなく、自分の個性や能力によって職業を選択した人達について知ることを通して、将来の自分に関心を持ち、目標をもって生活しようとする意欲をもつことができる。 <学級活動(2)「自分らしさの認め合い」></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ どんな職業を知っているか発表し合う。 ○ 出し合った職業についての性別の意識について考え、発表し合う。 ○ 資料を見て、性差や性別によらず、自分の個性と能力によって職業を選択した人がいることに気づく。 ○ 自分が将来やってみたいことや目指したいものについて考え、発表し合う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 職業選択は、性差や性別に関わらず自分の判断によってできることに気づかせるために、資料をよく読ませたり、職業選択に関する法令を紹介したりする。 ○ 身近な人や自分についても考えることができるようにするために、資料に載っている人の他にも、女性の運転士や消防士、男性の看護師や保育士がいることを伝えたり、出会った経験を話させたりする。
<p>◇ Aさんと過ごして学習したことや、実践を通して感じたことなどをまとめ、本単元での自分の学びをまとめることができる。 <課外></p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ Aさんに宛てて、本単元で学習したこと、感想と、自己決定したことの実践の振り返りを伝えるビデオメッセージを作成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 子ども達からのメッセージを受けて、返事を送ってもらえるよう、Aさんとの間で事前に打ち合わせておく。

5 本総合単元における学級活動について

(1) 題材 「自分らしさの認め合い」 (2) ウ 望ましい人間関係の形成

(2) 題材について

① 児童の実態

本学級の子ども達は、学級目標「一人一人を大切に、心で団結する学級～自分のよさも、友達のよさも大事にする6年生～」の達成を目指すことを通して、友達に親切にしたり、優しくしたりすることができるようになってきている。また、人権学習や、毎日のよさの認め合い活動を通して、一人一人を同じ人間として尊重しなければならないという気持ちを持ち始めている。しかし、性差をもとにした考えで行動することがあったり、テレビを中心としたメディアからの情報などにより、性自認や性的指向が人それぞれ異なることには気づき始めているが、その思いを認めたり、大切にしたりすることはできていない。

② 題材設定の理由

本題材は、子ども達が性の多様性に着目し、自己や他者の性のあり方について考えたり、性的マイノリティの当事者の方の話を聞いたりしたことをもとに話し合うことを通して、性差にとらわれず、自他を一人の人間として尊重し合うことの大切さを理解し、誰とでも支え合いながら希望をもって生活する態度をもつものである。道徳ではぐくむ、誰とでも信頼し合って助け合おうと考えるという道徳的実践意欲と態度、体育科（保健領域）で身につけさせる、体と心が影響し合いながら発達することや、発育は性差よりも個人差の方が大きいことがわかる知識・理解は、その人らしさを自他で尊重し合いながら生活する態度を育てる上で、その価値的・態度的側面、知識的側面を担うものであると考える。そこで、学級活動において、多面的な性の方見方について感じたことを話し合わせ、その人らしさを尊重することについて自己決定したことを実践させることで養う思考・判断・実践の力を技能的側面ととらえることで、異なる教科・領域の特質を関連させ、性の多様性を認め合い、その人のありのままの姿を大切にしよう子どもを育てられると考え、本題材を設定した。

本題材の指導にあたっては、普段の自分達の友達に対する見方や友達との関わり方の振り返りや、性的マイノリティの当事者とのふれあいを通して、性には男女という2つの性別のみあるという固定的な見方ではなく、多様性があるという見方が大切であることをとらえさせる。そして、日常生活の中で、様々な物事について性差にとらわれた考え方をするのではなく、自他を一人の人間として尊重し合うことが大切なことを理解させながら、互いの自分らしさを大切にする方法について話し合い、これから大事にしていきたい友達とのかかわり方を自己決定させ、実践させる。このことは、あらゆる差別をなくすことを目指す人権のまちづくりの学習を進める上でも意義深い。

(3) 第5学年及び第6学年の評価規準

自分達の学級生活の充実と向上を目指して、学級生活に関する諸問題の解決を自主的に行うとともに、生活や学習への適応及び健康や安全な生活など心身の健康を増進し、健全な生活態度を身につける活動を通して、集団の一員としての自覚を深め、協力してよりよい生活を築こうとする態度をもつことができる。

(4) 本題材のねらい

日常生活の中で、他者の性のあり方に対する自分の見方に関心を持ち、自主的に望ましい人間関係を築くとともに、多面的な性の方見方について感じたことを話し合い、その人らしさを尊重することについて自己決定・実践し、自分らしさを他者と互いに尊重し合う生活をつくることの大切さ、そのための性に対する考え方について理解することができる。

6 本時 平成26年12月16日（火） 第5校時 6年1組教室において

7 本時の主眼

- Aさんの思いや考えに気づき、性的マイノリティの方の人権を尊重することと、自分らしさを友達と互いに尊重し合うことの大切さを理解することができる。 【知識・理解】
- Aさんの話を聞き、友達と自分らしさをどう大切にしようかについて考え、これから大事にしていきたい友達との関わり方を自己決定することができる。 【思考・判断・実践】

8 本時の展開

段階	主な学習活動と内容, 予想される子どもの考え (・)	主な支援 (○), 評価規準 (◆)
つかむ さぐる	<p>1 Aさんや友達とのふれあいについて振り返り, 本時の学習のめあてをつかむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Aさんに今日初めて会って, 会話したり遊んだりして仲よくなったけど, 性別のことなど, よくわからないこともあった。 ・ 友達のいいところをうまく見つけられないときがあった。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>Aさんの思いや考えとのふれあいから, 友達とのよりよい関わり方について話し合おう。</p> </div> <p>2 Aさんの話から, これまでの生活のことや性差についての考えを知り, 友達のよさの見方について話し合う。</p> <p>○ Aさんが子どものころの話, 性差の考え方についての話を聞き, 性についての自分の考え方をさぐる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と同じように, Aさんにも, 普段の生活の中で楽しいことがたくさんあるんだな。 ・ 自分の性についての心のあり方は本当に人それぞれで, それはその人らしさとして, なにもおかしいことではないんだな。 ・ Aさんは友達からかけられた言葉によって, 自分の特ちょうを, いいところだと感じられるようになったんだな。 <p>○ Aさんがみんなに考えてほしいことについての話を聞き, 自分らしさを認め合う大切さについて話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 性についての心のあり方などのその人らしさは, 互いに大切にしなければならないな。 ・ 互いの特ちょうを, その人のよさととらえて, 認め合うことが大事なんだな。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>友達との関わりの中で見つけたおたがいの特ちょうを, その人らしさやその人のよさととらえて, 大切にしよう。</p> </div>	<p>○ 自分達が学級で友達のことをどのように見ているのかを振り返られるよう, 1週間の, 友達に対する自分の見方についてのアンケートの結果を伝える。</p> <p>○ Aさんの思いが子ども達にしっかり伝わるよう, Aさんと担任が事前に焦点化している内容について話し, 子ども達がそれを聞き取ったり, 聞きたいことを尋ねたりする形態にする。</p> <p>○ 従来の性別だけでなく, 性についての心のあり方は様々であることを理解させるために, 自分の性について考えた第1時の学習について話し, 想起させる。</p> <p>○ 話を聞いた子ども達が, 自分らしさの大切さを感じることができるよう, これまでの生活のこと, 性差についての考え, みんなに考えてほしいことの話の中で, 自分の心のありのままの姿でいられることが一番の喜びであることを伝えてもらうよう, Aさんと事前に打ち合わせておく。</p> <p>○ 友達の特徴をよさとしてとらえることができるようにするために, 「落ち着かない」ことを「行動力がある」ととらえられるなどの, 友達に対する様々な見方ができることを伝える。</p> <p>○ 自分らしさを十分に発揮できることが大切であることに気付かせるために, 子ども達の発表の中でそれらの気付きができていた部分を, Aさんに認めてもらう。</p>
ふかめる いかす	<p>3 Aさんの話を聞いて考えたことをもとに, 友達と自分らしさを大切にしよう方法について話し合い, これから大事にしていきたい友達との関わり方を自己決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 様々な人と関わる中で, 自分と違うと感じることがあっても, それをおかしいと決めつけず, 大切なその人らしさかもしれないという見方をしようと思う。 ・ 友達のいいところを今までよりももっとたくさん見つけて, お互いにほめ合って, 「一人一人を大切にしよう」を大きくしたいと思う。 <p>4 日常生活の中で, 自分らしさを他者と互いに尊重し合うために, みんなでどんなことに取り組むかを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ これから, 人との関わりの中で, 考えることなどが自分と違う人がいても, おかしいと決めつけず, その人らしさととらえ, よさを見つけるようしよう。 ・ 友達のいいところをどんどん見つけてほめ合うことで, みんなで一人一人の自分らしさを大事にし合おう。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆ 性的マイノリティの方の人権を尊重することと, 自分らしさを他者と尊重し合うことの大切さを理解している。【知識・理解】(学習プリント)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>◆ 友達と自分らしさをどう大切にしようかについて考え, これから大事にしていきたい友達との関わり方を自己決定している。【思考・判断・実践】(学習プリント)</p> </div> <p>○ 事後の活動に進んで取り組み, 達成感を味わわせるために, ふかめる段階でみんな話し合ったことをもとに自己決定できたことを称賛し, この取り組みを続けていくことが, 一人一人を大切にするという学級目標の達成につながることを確認する。</p>